

2016年5月25日

日化協3賞（安全表彰、技術賞、RC賞）の受賞者決定

—化学産業の更なる発展に向け、優れた取り組みを表彰—

一般社団法人日本化学工業協会

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：小林 喜光（株三菱ケミカルホールディングス 会長）、以下「日化協」）は、優れた安全活動を実施し模範となる事業所を表彰する「日化協 安全表彰」、社会全体の発展や環境の改善に大きく寄与した革新的で優れた科学技術や製品の創出を表彰する「日化協 技術賞」、レスポンスフル・ケア（以下「RC」）の更なる発展、拡大を図るため、優れた功績あるいは貢献をした事業所、部門、グループまたは個人を表彰する「日化協 RC賞」の本年度受賞者を、本日選定いたしました。各賞の詳細につきましては、別紙をご参照ください。

なお、5月26日（木）に、パレスホテル東京（東京都千代田区）において各賞受賞式を行うとともに、6月16日（木）にイイノカンファレンスセンター（東京都千代田区）で開催する『日化協シンポジウム』にて、各賞受賞者による受賞講演を開催する予定です。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

一般社団法人日本化学工業協会 広報部（TEL:03-3297-2555）

日化協 安全表彰、日化協 RC賞について（担当：大西）

日化協 技術賞について（担当：萬）

第 40 回 日化協 安全表彰

【安全最優秀賞】（賞状、賞牌及び副賞（30 万円））

三菱化学株式会社 水島事業所

所在地： 岡山県倉敷市潮通 3-10

操業年月： 1964 年操業開始

主要事業： ナフサを原料とした石油化学製品等

従業員数： 943 名

安全成績： 無災害記録時間 1,360 万時間 無災害年数 4 年

主要受賞歴： 高圧ガス保安経済産業大臣表彰 優良製造所

選定理由： 保安・安全への強い思いが、事業所長から現場の個人一人ひとりに至るまで浸透するような組織づくり・組織運営がなされており、自ら考え、主体的に行動する人づくり、決められたことが当たり前を守る職場づくりが進められている。そのため当事業所では多種の化学物質が大量に使用されている中、非常にきめ細かな安全管理が現場主体で実施されている。

【安全優秀賞】（賞状、賞牌及び副賞（10 万円））

旭化成マイクロシステム株式会社 延岡事業所

所在地： 宮崎県延岡市中川原町 5 丁目 4960 番地

操業年月： 1992 年操業開始

主要事業： 半導体を用いた電子部品の製造

従業員数： 429 名

安全成績： 無災害記録時間 1,030 万時間 無災害年数 11 年

主要受賞歴： 宮崎労働局優良事業場優良賞、経済産業省九州保安監督部高圧ガス優良製造所

株式会社新菱

所在地： 福岡県北九州市八幡西区黒崎三丁目 9 番 24 号 ニッセイ新ビル 5F

操業年月： 1964 年設立

主要事業： 産業廃棄物の中間処理及び再生品販売。感光性樹脂、医薬中間体の製造。半導体及び液晶製造設備の精密洗浄、分解整備、部品供給及び表面加工。

従業員数： 894 名

安全成績： 無災害記録時間 1,190 万時間 無災害年数 5 年

主要受賞歴： なし

昭和アルミニウム缶株式会社 大牟田工場

所在地： 福岡県大牟田市岬町 1-16

操業年月： 1997年操業開始

主要事業： 飲料用アルミニウム缶の缶胴製造

従業員数： 84名

安全成績： 無災害記録時間 176万時間 無災害年数 11年

主要受賞歴： 福岡労働局長表彰 優秀賞他

住友ベークライト株式会社 宇都宮工場

所在地： 栃木県宇都宮市清原工業団地 20-7

操業年月： 1950年操業開始

主要事業： 半導体用樹脂、半導体パッケージ基板材料の製造。コーポレート研究開発、光電気複合インターポーター研究開発

従業員数： 341名

安全成績： 無災害記録時間 470万時間 無災害年数 7年

主要受賞歴： 栃木労働局長奨励賞

※本年度、「特別賞」の該当はなし

<ご参考>

【日化協安全表彰について】

化学業界における自主的な保安・安全衛生の推進の一環として、日化協で優れた安全活動を実施し模範となる事業所を表彰してきました。本年は第40回を迎え、例年のとおり募集を行い、23事業所（内、3研究所を含む）から推薦（応募）を頂きました。審査は、田村昌三議長（東京大学名誉教授）のもと、安全表彰会議において行われ、様々な角度から慎重かつ公平に表彰対象候補を絞り込み、特に優れた5事業所を現地調査事業所として選びました。引き続きこれら事業所を個々に訪問して詳しい現地調査を行い、その結果を安全表彰会議にて報告し、慎重に審議した結果、安全最優秀賞事業所（1社）、および安全優秀賞事業所（4社）を選考しました。

第48回 日化協 技術賞

【総合賞】独創的で、かつ科学技術の進歩に寄与した製品や技術であり、産業上の価値の高いもの（賞状、賞牌及び副賞（30万円））

三菱ガス化学株式会社

受賞業績：「高屈折率・低複屈折特殊ポリカーボネート樹脂の開発」

業績内容：スマートフォンや携帯電話、タブレット等に搭載されるカメラレンズ用のポリカーボネート樹脂を開発した。レンズにとって極めて重要となる「高屈折率」（レンズの薄型化に寄与）と「低複屈折」（画像の鮮明化に寄与）を両立させ、カメラの小型化、高画素化の実現に成功。今やスマートフォンやタブレットのみならず、車載カメラやゲーム機等幅広く搭載され、それらの産業の発展に大きく寄与している。

【技術特別賞】独創的で、かつ科学技術の進歩に寄与した製品や技術であり、比較的規模は小さくとも、技術的に優れたもの（賞状、賞牌及び副賞（20万円））

富士フイルム株式会社

受賞業績：「写真技術を応用した、タッチパネル用薄型両面センサーフィルムの開発」

業績内容：これまでタッチパネル用センサーは、酸化インジウム錫ガラス/フィルムが主流であったが、写真技術を応用した高導電性銀画像形成技術により、薄型PETを用いた薄型両面センサーフィルムを開発した。従来のものに比べて、低抵抗（応答性が早い）かつ薄型であり、また希少金属、かつ化合物の安全性配慮が必要な「特定化学物質」に指定された「インジウム」のフリー化にも成功。フレキシブル性にも優れ、今後フレキシブルセンサーや3Dセンサー等への展開も期待されている。

三井化学株式会社

受賞業績：「世界初、『柔軟性と伸縮機能に優れた実用的な不織布』の開発」

業績内容：赤ちゃんの紙おむつ用として、従来の機能に加え、「肌にやさしく」、「デザイン性」に優れた不織布を開発した。「肌にやさしい」という感覚を、「なめらかさ」、「ふんわり感」、「フィット感」等の独自の評価指標に落とし込み、樹脂設計、繊維形態の制御技術等を駆使することで、開発を成功させた。紙おむつは、グローバルに需要が拡大しており、世界の人々のクオリティオブライフの向上に貢献している。

※本年度、「日化協環境技術賞」は該当なし

第10回 日化協 RC賞

【RC大賞】（賞状、賞牌及び副賞（30万円））

花王ロジスティクス株式会社

テーマ：「配送業務の交通事故削減と環境負荷低減を目指した取り組み」

受賞者：山口裕人、江原正実、篠原正夫、梁間信夫、中村進、佐々木学、鈴木清十

活動：『日本一安心して安全な物流会社を目指して』を旗印に活動を続け、ここ10年以上にわたって行ってきた物流作業における安全衛生・環境保全の中で、特に交通事故撲滅と省エネの強化に努め、成果をあげている。

【審査員特別賞】（賞状、賞牌及び副賞（20万円））

D I C株式会社 D I C安全風土醸成分科会

テーマ：「D I C安全風土醸成分科会の活動による労働災害発生件数の削減」

受賞者：田中利幸、藤井健治、大川隆敏、守田哲也、前田馨、蛭川芳夫、大矢勉、竹内淳

活動：国内グループにおいて、安全風土醸成分科会を2011年に発足させ、安全にかかる全社方針制定案の作成、注意喚起ステッカーの作成、社長出演の安全ポスターの作成等を通じて安全風土醸成に努めた結果、2014年度の労働災害件数は、2010年の60件から22件まで減少した。

住友化学株式会社 S u C C E S S推進プロジェクトチーム

テーマ：「グローバルな化学品安全管理の一層の充実にむけて」

受賞者：中村洋介、落合和弘、佐藤日出夫、小里幸徳、土佐泰夫、廣森壽彦、睦好英樹、佐藤雅之

活動：単体用にカスタマイズした化学品管理システムをG P S / J I P S活動等に利用してきたが、「グローバル標準化」を実現し、海外グループ会社での運用を開始した。更に、システムの質の一層の向上に繋げるとともに日化協会員各社での活用への道も切り開いた。

【優秀賞】（賞状、賞牌及び副賞（15万円））

ダイセル物流株式会社

テーマ：「お客様に満足頂ける物流安全と品質を目指して～従業員同士での共育活動～」

受賞者：小島耕二、池下進、長谷明宏、堀内真治、村上利幸、小山浩美

活動：荷役機器の操作技術を向上させるため、ダイセル物流独自の研修設備を設置し、独自のカリキュラムを基に従業員の教育（共育と称している）を5年間継続したところである。このプログラムは、毎年見直しするが、併せてタンクローリーに関わる社内技能コンテストを開催している。

三井化学株式会社 市原工場

テーマ：「三井化学株式会社市原工場『地域社会への貢献活動』」

受賞者：蔵菌忠伸、中村淳、上田康博、菅原健太

活動：市原工場では、「社会」・「環境」・「経済」の3軸経営に立脚し、様々なステークホルダーに対して安心・安全な工場の実現を図るために、積極的なRC活動や地域社会への貢献活動を継続して実施している。この活動は工場運営方針に掲げ、工場社員全員が積極的に取り組んでいる。

ポリプラスチック株式会社 富士工場 総務部・安全環境部

テーマ：「近隣住民との信頼性維持-継続的なコミュニケーション活動-」

受賞者：山本國智、望月紀彦、平柳敏久、鈴木章文、望月三和司

活動：富士工場では、日本でRC活動が始まる前の1974年より40年以上近隣住民との定期的な意見交換を継続している。毎年近隣の代表者の方々にご来場いただいた上で、忌憚のないご意見を伺い、その後の活動に生かしている。

【努力賞】（賞状、副賞（5万円））

東洋インキSCホールディングス株式会社 生産・物流本部 環境安全推進部

テーマ：「海外関係会社の環境安全責任者に対する安全研修の継続実施」

受賞者：内田弘美、北村友厚

活動：東洋インキグループは、2011年度から海外の関係会社の環境安全責任者に対する研修を継続して行っている。2014年度からは海外の主要拠点に責任者を集めて研修を実施しており、実施拠点での意識やモチベーションの向上にもつながっている。

三菱化学株式会社 坂出事業所 RC推進部

テーマ：「統合リスクアセスメントによるリスク低減活動」

受賞者：加藤輝久、山本賢二、下村元是、元山和彦

活動：坂出事業所では、未然防止の有効な手段として統合リスクアセスメントを取り入れ、リスクの低減活動を継続推進している。ヒヤリハットやパトロール時の不具合発見など保安・安全・環境・品質等の項目について、経営に及ぼす影響度を可視化し、評価することにより、リスク低減を継続的に図っている。

昭和電工株式会社 HD事業部

テーマ：「HD製造工場の省エネルギーへの取り組み」

受賞者：松森徹、山崎浩之、鈴木大撰、白井俊雄、福田光二、栗田口祐介、齊藤将人、吹原信之

活動：HD工場では、2011年の東日本大震災以降、省エネルギーへの取り組みを強化した結果、2010年比で2014年の電力使用量が76%となる削減を達成した。

<ご参考>

【日化協レスポンシブル・ケア（RC）賞選考基準】

- ・RCの6本柱（保安防災、労働安全衛生、環境保全、コミュニケーション、化学品・製品安全、物流安全）に関する活動で顕著な成績を残したもの
- ・企業内のRC活動の推進にあたり、率先して実施し、顕著な貢献のあったもの
- ・RCの海外活動に貢献したもの

【レスポンシブル・ケアとは】

地球環境問題や工業化地域の拡大などによる「環境・安全・健康」に関する問題の広がり、また、技術の進歩により発生する新たな問題等に対して、化学物質に関する環境・安全・健康を規制だけで確保していくことは難しくなっています。化学製品を扱う事業者が、環境・安全・健康を確保していくために責任ある自主的な行動をとることが今まで以上に求められる時代となっています。

こうした背景を踏まえて、化学業界では、化学物質を扱うそれぞれの企業が化学物質の開発か

ら製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至る全ての過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、活動の成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行う活動をしています。この活動を“レスポンシブル・ケア”と呼んでいます。

レスポンシブル・ケアは1985年にカナダで誕生しました。1989年に国際化学工業協会協議会（I C C A）が設立され、レスポンシブル・ケアを通じた安全・環境の向上への取組と社会との対話を所属各国協会が協力して行うとともに、レスポンシブル・ケアを途上国等に普及する活動を行っています。今やレスポンシブル・ケアは、世界60の国と地域（2016年5月現在）で展開されています。